



気象庁発表 全国1か月予報(平成29年3月30日発表)

- 西日本と沖縄・奄美では、期間のはじめは気温が低く、かなり低くなる所もあるでしょう。向こう1か月の気温は沖縄・奄美で低く、西日本でも平年並か低い見込みです。
- 北日本では、北から寒気が流れ込みにくく、向こう1か月の気温は高いでしょう。
- 東日本太平洋側と西日本では、南から湿った空気が流れ込みにくく、向こう1か月の降水量は少なく、北・東日本日本海側でも平年並か少ない見込みです。

長野県味噌川ダム様に 気象観測システムを納入しました!

味 味噌川ダム(みそがわダム)は、1996年、水資源開発公団(現水資源機構)により、長野県木曾郡木祖村、木曾川水系木曾川に建設されたダムです。

高さ140メートルのロックフィルダムで木曾川に建設されたダムとしては最も堤高が高く、最も新しいダムであり、洪水調節・不特定利水・上水道・工業用水・水力発電を目的とした多目的ダムです。

このダムの維持管理用に設置されていた総合気象観測システムの老朽化に伴い、最新の気象観測装置を導入しました。

ダム管理の基本要素である風向風速、温度、湿度、雨量、積雪、気圧を観測し、従来のアナログ記録方式をネットワークを介して、ファクトリコンピュータで、リアルタイムデータや帳票、グラフ表示、過去データ閲覧などができる最新システムへ更新しました。観測したデータは、堤体観測装置やダム管理コンピュータへの出力も行っています。



強制通風式 一体型温度湿度計



気象庁仕様 風向風速計



レーザー式積雪深計(人体検知センサー付)

酸性雨自動分析装置

酸 性雨自動分析装置とは、降雨雪の有無を自動的に検知し、湿性降下物及び乾性降下物を分けて採取出来る機器です。感雨器により蓋が自動開閉され、降雨雪を降り始めから終了まで全量採取します。

また、降水量0.5mmごとにpH、導電率、降水量、水温、感雨の測定も出来ます。成分分析用の試料は同時に装置内の冷蔵庫に保存し、タイマーにより指定する日時に保存用容器を切り替えることが出来ます。

降水時以外は常時乾性降下物を採取します。測定結果は記録計、データロガーに出力して、パソコンで集計も可能です。

石油や石炭を燃やすと、地球温暖化を進行させる二酸化炭素が発生すると同時に、酸性雨の主な原因物質である二酸化硫黄(亜硫酸ガス)や窒素酸化物が発生し、これらが、森林破壊、野生生物の減少といった問題を引き起こしています。

この酸性雨自動分析装置は、平成28年度、東京都様へ納入したほか、さいたま市様、環境省様へも納入が決まっており、国内の大学や試験研究機関など、また海外でも中国や台湾、韓国なども数十台の納入実績があり、アジア大気汚染研究センター(ACAP)様の大気汚染モニタリングと研究の一助となっています。



酸性雨分析ロガー

